

食品ロス削減のための普及啓発

これまでの施策に係る意見や課題

富山県食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議での意見

- ・継続的な啓発が必要
- ・食べきり3015運動協力店等の登録数がかなり増えている。目標に向けて、**伸ばせるところはさらに前に進めていくことが必要**。
- ・若い世代にどのようにして興味・関心をもってもらい、**自分事として考えてもらうことが必要**。

令和3年度の主な取組み

子どもを中心とした若い世代に対する普及啓発

<目的・実施内容>

子どもを中心とした若い世代に対して重点的な普及啓発を行い、食べ物を無駄にしない意識の醸成と定着を図ることで、食品ロスを発生させない行動の実践を促進し、食品ロス削減につなげる。

[重点的な普及啓発の例]

小学校での食品ロス削減の啓発。外部講師として、食品ロス削減の取組みに関する授業を行う。

[開催日] 令和3年9月27日(月)

[会場] 富山市立光陽小学校

[対象] 小学5年生 96名

[テーマ] 食品ロス削減の取組みについて

- ・富山県の食品ロスの現状
- ・県や事業者による食品ロス削減の取組み
- ・特設HP「とやま食ロスゼロ作戦」の「みんなのアイデア募集」への応募呼びかけ



→ 後日、児童が学習の成果を発表する予定

生徒の感想(抜粋)

- ・各家庭での工夫とかの積み重ねも食ロスゼロにつながるのかなと思います。
- ・自分にできることをどんどんやっていけるようにしたい。
- ・食品ロスをしている私たち自身が食品ロスを減らすための取組みに応えられるように協力していきたい。
- ・手つかず食品は期限切れなどで起こることで、**注意不足だ**と思うから気を付けていきたい。
- ・量を減らして**自分が食べきれぬ量にする**ことも大切だなと思いました。

「食べきり3015運動」推進と「食べきりサイズメニュー」導入促進

<目的>

宴会等での「食べきり3015運動」推進や、飲食店での「食べきりサイズメニュー」の導入促進を図り、外食産業における食品ロス削減につなげる。

<実施内容>

飲食店に協力店としての登録を募集し、ポスターや三角柱等の啓発資材の設置と来店者への呼びかけを依頼するとともに、登録店に対して取組みの効果等に関するアンケート調査を実施する。

[登録状況] (令和3年9月末現在)

食べきり3015運動協力店: 355店舗

食べきりサイズメニュー提供店: 415店舗

[アンケート結果] (中間結果)

- ・「食べきり3015運動の推進や食べきりサイズメニューの導入に参画して良かったと思いますか。」
⇒ 半数以上の飲食店が“良かった”と回答。
- ・「食べきり3015運動の推進や食べきりサイズメニュー導入の効果をもどどのような点で感じていますか。」
⇒ “食べ残しが減った”という回答が最も多かった。



【食べきり3015運動ポスター】



【食べきりサイズメニューポスター】

公共交通機関を活用した普及啓発

<目的・実施内容>

食品ロス削減のためには継続的な普及啓発が必要であることから、食品ロス削減月間(10月)に、公共交通機関の駅や車両内にポスターを掲出して普及啓発を行うことで、県全体の機運を醸成し、食品ロス削減につなげる。

[啓発内容]

「食べきる・使いきる・買いすぎない」の観点で、一人一人の行動が食品ロス削減につながることにについて啓発を行う。

[掲出時期]

令和3年10月(4週間)

[掲出箇所]

- ・駅ポスター
あいの風とやま鉄道(富山駅ほか13駅)
富山地方鉄道(電鉄富山駅ほか17駅)
J R西日本(砺波駅ほか2駅)
- ・車内ポスター
あいの風とやま鉄道、
富山地方鉄道(電車・バス)、
加越能バス、万葉線



【車内ポスター】



【駅ポスター】

今後に向けた取組みの方針

- ・食品ロス等削減のための取組みを実施する人の割合が他の世代よりも低い若年層への普及啓発を重点的に実施。行政や関係団体、事業者の取組みを継続的に情報発信。